

(教育委員会)

事業名	事業費	・ 説 明	
小 学 校 整 備	113億465万5千円	筒瀬小学校校舎増築 1億779万8千円	
	財源内訳 〔 国庫負担金 3,026万3千円 市債 27億9,700万円 貸付金元利収入 74億7,771万5千円 一般財源 9億9,967万7千円 〕	筒瀬小学校校舎増築	1億779万8千円
		⑧ 石内小学校校舎増築 用地造成基本設計等	790万円
		屋内運動場耐震化対策 補強工事立案・評価 2校	1,310万円 300万円
		耐震補強工事実施設計 10校	1,010万円
		青崎小学校外壁改修	1,032万円
		法面改修 2校 口田、湯来西	5,240万円
		福祉環境整備 3校 便所改修、スロープ設置	1,270万円
		湯来西小学校屋内運動場整備 屋根改修	950万円

事業名	事業費	説明
		<p>校内LAN整備 3校 1,380万円 湯来東、湯来西、湯来南</p> <p>土地開発公社からの用地再取得 30億2,367万2千円 中筋第二</p> <p>校舎等先行建築資金貸付け 74億7,771万5千円 古田台、伴南、中筋第二、矢野南</p> <p>一般整備その他 5億7,485万円</p> <p>アスベスト対策 90万円 空気中濃度測定 6校 基町、江波、戸坂、三篠、八木、 矢野西</p>
中学校整備	<p>7億1,646万7千円</p> <p>財源内訳</p> <p>〔市債 3億2,400万円〕</p> <p>貸付金元利収入 6,260万5千円</p> <p>一般財源 3億2,986万2千円</p>	<p>戸山中学校改築 8,900万円 グラウンド造成</p> <p>屋内運動場耐震化対策 810万円 補強工事立案・評価 2校 300万円 耐震補強工事实施設計 5校 510万円</p>

事業名	事業費	説明
		牛田中学校外壁改修 2,336万円
		祇園中学校屋内運動場整備 2,235万円 屋根改修
		校内LAN整備 2校 920万円 湯来、砂谷
		段原中学校移転改築建物等補償 2億3,344万9千円
		事業費 17億1,854万6千円
		17年度 2億 494万6千円
		18年度 2億3,344万9千円
		19年度以降 12億8,015万1千円
		校舎等先行建築資金貸付け 6,260万5千円 ⑧新伴第二
		一般整備その他 2億6,810万3千円

事業名	事業費	説明
		アスベスト対策 30万円 空気中濃度測定 2校 段原、城南
高等学校整備	7,183万5千円 財源内訳 [市債 1,800万円] [一般財源 5,383万5千円]	屋内運動場耐震化対策 2,090万円 耐震補強工事 1校 一般整備その他 5,093万5千円
養護学校整備	2,901万2千円 財源内訳 [一般財源 2,901万2千円]	一般整備その他 2,901万2千円
幼稚園整備	3,726万円 財源内訳 [一般財源 3,726万円]	一般整備 3,726万円

事業名	事業費	・ 説 明
新しい教育の推進	11億9,199万7千円 財源内訳 〔 国庫委託金 1,561万2千円 〕 〔 県補助金 124万5千円 〕 〔 一般財源 11億7,514万円 〕	21世紀教育改革推進総合プラン検討会議の提言を踏まえ、広島らしい新しい教育を推進・充実するための事業を実施する。 小・中学校少人数指導 1億6,727万3千円 小・中学校に非常勤講師を配置することにより、基礎学力の確実な定着及び個に応じたきめ細かな指導の充実を図る。 小学校3・4年生 1億2,068万1千円 3・4年生の算数を対象に、1学級平均35人を超える学校に非常勤講師を配置する。 中学校1年生 4,659万2千円 国語・数学・英語を対象に県費措置に加え、非常勤講師を配置する。 基礎学力向上推進事業 392万1千円 学力向上重点校において、専門的な指導を仰ぎながら、個々の児童生徒の弱点を克服し、基礎学力の向上を図る。

事業名	事業費	説明
		<p>基礎・基本の力の定着に係る検討 126万3千円</p> <p>基礎・基本の力（言語運用能力・数理運用能力）を定着させ、より一層の学力向上を図るため、「ひろしま型カリキュラム」の平成19年度からの段階的導入に向け、学習プログラムの検討や教科の新設の準備など具体的な検討を行う。</p> <p>⑨ 図書館教育推進事業 74万4千円</p> <p>豊かな経験を有する専門家を学校に派遣し、図書ボランティアの実践力の向上を図り、児童生徒の読書活動を一層推進する。</p> <p>特別支援教育体制推進事業 315万4千円</p> <p>通常学級に在籍する学習障害児、注意欠陥・多動性障害児等に対して適切な指導を行うため、専門家チームによる巡回相談指導等を実施する。</p> <p>特別支援教育アシスタント事業 8,707万5千円</p> <p>小・中学校の通常学級に在籍する肢体不自由児、学習障害児、注意欠陥・多動性障害児等の教育的支援を必要とする児童生徒に対し、特別支援教育アシスタントを配置し、学校生活における補助及び安全確保等の支援を行う。</p>

事業名	事業費	説明
		<p>養護学校自立活動支援事業 580万3千円</p> <p>養護学校に特別非常勤講師（看護師）を配置し、医療的ケアの必要な児童生徒に対して、主治医や学校医と連携を図りながら医療的ケアを含む自立活動の支援を行う。</p> <p>プロフェッショナル人材活用事業 102万円</p> <p>高校生の学習意欲や職業意識を高めるため、第一線で活躍している企業人や大学教授などによる講義やインターンシップを実施する。</p> <p>⑧ 子どもの生活習慣確立支援事業 20万円</p> <p>児童生徒等の生活習慣の確立を図るため、啓発リーフレットを作成し、全家庭へ配布する。</p> <p>感動体験推進事業 84万4千円</p> <p>職場体験活動等の特色ある体験活動を通じて、中学生に学ぶ楽しさや成就感を体得させ、社会性などの育成を図る。</p> <p>⑧ さわやかボランティア活動の推進事業 165万4千円</p> <p>生徒のボランティア活動への意欲を喚起するとともに、保護者、地域と連携を深めるためにボランティア手帳を作成・配布する。</p>

事業名	事業費	説明
		<p> 新 中学校演劇鑑賞推進事業 120万5千円 中学校1年生に文化芸術を直接鑑賞する機会を提供し、豊かな心と感性を持った人間を育成する。 </p> <p> 中学校文化部活動活性化支援事業 293万円 文化・芸術に造詣が深く指導力に優れた地域の人材を招へいし、生徒の多様なニーズに応じた文化部活動の活性化を図る。 </p> <p> 新 体力づくりステップアップ事業 345万円 「1校1体力づくり事業」を推進するとともに、体力向上の動機づけとして、「体力アップリーフレットファイル」及び「体力アップ認定証」を作成する。 </p> <p> 自然体験活動事業 1,537万3千円 自分が住んでいる身近な自然と親しむ多様な体験を通して、豊かな心とたくましく生きるための力をはぐくむ。 </p> <p> 中学校運動部活動活性化支援事業 373万7千円 生徒の多様なスポーツニーズに応じた活動を保障するとともに、地域と連携して運動部活動の活性化を図るため、地域のスポーツ経験者を招へいする。 </p>

事業名	事業費	説明
		<p>D o スポーツ体育指導者招へい事業 92万7千円</p> <p>運動への興味・関心を高めるため、小学校5・6年生及び養護学校の体育の授業や特別活動において、プロ選手や地域の競技経験者を招へいする。</p>
		<p>情報教育の推進 8億4,846万円</p> <p>高度情報化社会に児童・生徒が適切に対応するため、コンピュータやインターネットを利用し、主体的な情報活用能力の育成を図る。</p>
		<p>小・中学校校内LAN整備 9,183万円</p>
		<p>小・中・高等学校等教育用情報通信ネットワーク整備 1億7,122万5千円</p>
		<p>小・中学校院内学級教育用情報通信ネットワーク整備 93万7千円</p>
		<p>教育用コンピュータ整備 5億6,551万4千円</p>
		<p>コンピュータ研修 501万4千円</p>
		<p>教育情報拠点整備 1,394万円</p>
		<p>高校生の国内・国外留学推進事業 1,092万1千円</p> <p>国際的視野をもった高校生を育成するため海外交換留学を行うとともに、自然科学・芸術など様々な分野で新たな知識や技能を修得するための国内留学の具体化について調査検討を行う。</p>

事業名	事業費	説明
		<p> 新 学校の組織運営に関する調査研究事業 117万8千円 文部科学省から委嘱を受け、学校組織のあり方、新たな職制の整備及び教員評価のあり方等について実践的な調査研究を行うために、研究会議を開催して意見を求める。 </p> <p> 学校協力者会議の充実 259万2千円 全校（幼・小・中・高・養）に設置する学校協力者会議が外部評価を行うために必要な資料作成等 </p> <p> 学校評価の推進 757万7千円 文部科学省から委嘱を受け、学校の自己評価及び外部評価の一層の充実を図るとともに、第三者評価に係る内容の検討を進める。 </p> <p> 教職員人事管理システムの運用 33万円 指導力不足等教員に関する認定・対応策等について、第三者機関として中立な立場で専門的・多角的な見地から検討する判定委員会を設置し、意見、助言等を求める。 </p>

事業名	事業費	・ 説 明
		<p> 新 幼児教育支援事業 685万7千円 文部科学省から委嘱を受け、教育委員会内に保育カウンセラー等の専門家からなる幼児教育サポートチームを設置し、関係機関と連携を図り、家庭及び幼稚園等を支援する体制を整備する。 </p> <p> 幼・保・小連携推進事業 36万円 「幼稚園と保育園のよりよい連携のあり方検討委員会」の提言の具体化に向けて、小学校への円滑な移行を視野に入れた幼保連携を実現するため、24小学校区を指定して、幼稚園・保育園・小学校の教員等で構成する連携推進委員会を設置し、合同研修会や交流事業を行う。 </p> <p> 高・大連携の推進 69万2千円 市立高等学校生徒を対象に高大連携講座を実施するとともに、市立大学と意見交換を行うことにより、「魅力ある高校づくり」を推進する。 </p> <p> 新 2学期制推進事業 30万円 19年度からの2学期制本格実施に向けて、モデル校における実践研究及び周知を行う。 </p>

事業名	事業費	説明
		<p>通学区域の弾力的運用の推進 160万6千円</p> <p>19年度中学校新入生を対象とする隣接校・行政区域内校選択制に係る事務を行うとともに、小学校における検討を行う。</p> <p>市立養護学校の建替 500万円</p> <p>施設の老朽化及び狭隘化を解消するための市立養護学校の建替に係る基本計画の策定を行う。</p> <p>市立養護学校児童生徒の地域活動の推進 180万円</p> <p>障害児と地域のボランティア等の活動グループが、公民館等を拠点として地域との交流を行う事業等に対して助成を行う。</p> <p style="padding-left: 40px;">補助率 対象経費の1/2</p> <p style="padding-left: 40px;">限度額 9万円</p> <p>メンター制度の推進 375万1千円</p> <p>子どもの発達段階等に応じて、人生経験の豊富な大人（メンター）が子どもと1対1の関係で継続的・定期的に交流し、豊かな人間性や子どもの精神的・人間的な成長を促すとともに、生活習慣の確立や学力の向上を図る。</p>

事業名	事業費	・ 説 明
多様化する学校教育への対応	1億4,739万円 財源内訳 〔 財産運用収入 365万7千円 〕 一般財源 1億4,373万3千円	いきいき体験オープンスクール 58万9千円
		自然環境に恵まれた学校で、自然観察などの体験学習に重点をおいた教育を行う。 実施校 似島小学校、筒瀬小学校、似島中学校
		英語指導の充実 1億2,943万7千円 英語を母国語とする国から青年を招致し、中・高等学校における英語授業の補助にあたり、コミュニケーション能力の育成や国際理解の基礎を培う。 英語指導助手 23人
		幼児のひろば推進事業 94万9千円 公立幼稚園を地域に開放し、幼児教育相談等子育て支援を行う。
		在日外国人児童生徒への対応 4万6千円 在日外国人の児童生徒に関する教育の充実を図るため、教育相談員による相談を行う。
帰国・入国児童生徒教育支援事業 1,636万9千円 帰国・入国児童生徒の在籍する小・中学校への日本語指導者の派遣等を行う。		